科目名		食品	品機能	学		英文表	英文表記		Food Function				平成24年3月16日		
科目コード 6418												17,5021 07,11014			
教員名: 田中 博 技術職員名:							1						作	成	
	対象≒	学科/	専攻:	コース		学年	必·	選	履修·兽	学修	単位数	授	業形態	授業期間	
創造シス	テムエ	学専攻	生物	資源コ	□学コー	-ス 専2	選	択	学修	<u>z</u>	2単位		講義	前期	
科目目標		食品が生体に及ぼす複数の機能性について、その役割と科学的な根拠を学習し、関連する研究論文を理解することができる研究開発実践力を身に付けることを目標とする。													
総合評価	②研3	①定期試験(100点満点):中間・期末の平均の50% ②研究論文レポート:それぞれの研究論文の理解度を10点満点で評価し、5報分を合計する 前期評価:①と②の得点を合計し、60点以上を合格とする。													
	科目	達成原	E目標	(対応	するJA	けるJABEE教育目標)									
達成度目	① 食品(成分)の機能性を、疾患別に整理して説明できる。(A-2) 食品(成分)の機能性を説明させる記述式のを行い、その記述内容で理解度を評価する。														
標と評価方法															
	3							⇒							
								⇒							
	1	2	3	4	JAR	EEプログ					H- H	で資源コ	口学		
本科·専攻科 教育目標	0	2	<u> </u>			Eプログラ						A-2, B-3			
食品には一次機能(栄養特性)、二次機能(嗜好特性)に加えて三次機能(機能特性)がある。食品機能学では、科学的に明らかにされている食品(成分)の三次機能を、対象疾患別に解説する。また、それぞれの機能性に関する最新の研究論文を精読し、研究の現状を理解するとともに、研究開発現場で必要とされる情報収集力と説明力を養う。研究論文の精読を予習課題とするが、授業時に十分なディスカッションができるように論文内容を整理・理解して授業に臨むこと。															
教科書:食品機能学(光生館) 教科書・ 教材:教員自作のパワーポイント説明資料、プリント、研究論文 教材															
授業計画															
週	-	美 項	į į	l	時間		#: 	曼 美	人	容	?			自学自習 『・復習)内容	
1 ガイダンス 食品の機能性 2 機能性食品の制度 3 がん I 4 がん I					2 1 2 1 2 7	受業の目的 食品とは何: 国内外の保 がんを予防 がんを予防 がんを予防	かを理 健機能 する食 する食	解する 食品 品機能 品機能)。 制度を も性成分 も性成分	学ぶ。 }につ	いて学ぶ いて学ぶ	` ``o	1. 1.	機能食品制 がん予防 がん予防	
5 がん III 6 アレルギー I				2 7	かんをアい を理解する。 アレルギーを)						ā	扁文予習 ····································		
	ルギー				<u>, [</u>	アレルギーで究論文を理	を予防す	する食						扁文予習	

8	中間試験	2							
9	おなかの調子!	2	おなかの調子を整える食品機能性成分について学	整腸作用					
10	おなかの調子 II	2	おなかの調子を整える食品機能性成分についての研究論文を理解する。	論文予習					
11	循環器疾患I	2	循環器疾患を予防する食品機能性成分について学 ぶ。	動脈硬化 血圧					
12	循環器疾患 II	2	循環器疾患を予防する食品機能性成分についての研 究論文を理解する。	論文予習					
13	ミネラル I	2	ミネラルの補給を改善する食品機能性成分について	ミネラル					
14	ミネラル II	2	ミネラルの補給を改善する食品機能性成分について の論文を理解する。	論文予習					
15	機能性素材と成分	2	機能性素材と成分の概要について学ぶ。	素材と成分					
期末	期末試験	[2]							
16		2							
17		2							
18		2							
19		2							
20		2							
21		2							
22		2							
23		2							
24		2							
25		2							
26		2							
27		2							
28		2							
29		2							
30		2							
期末	期末試験	[2]							
	学習時間合計	60		45					
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証) 標準的所用時間(試行)									
1	① 予習(教科書により、各週の履修範囲を予習する) 1時間×13回								
2	② 復習(板書と関連情報の調査により、各週の履修内容を復習する) 1時間×14回								
3	予習(研究論文の精読)			4時間×5回					
	備考欄								

- ・この科目はJABEE対応科目である。 ・この科目の主たる関連科目は食品化学(専攻科1年)。 ・その他必要事項は各コースで決める。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)